

令和2年度 環境経営レポート

対象期間：2020年5月～2021年4月



 **大場機工株式会社**

2021年7月15日発行

目次

1. 組織の概要	P 3
2. 対象範囲	P 5
3. 環境経営方針	P 6
4. 実施体制	P 7
5. 役割、責任及び権限	P 8
6. 環境経営目標	P 9
7. 環境経営計画	P 10
8. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	P 11
9. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価 ならびに次年度の環境経営計画	P 12
10. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果 ならびに違反、訴訟などの有無	P 14
11. 代表者による全体評価と見直し・指示	P 15

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

大場機工株式会社

代表取締役 大場 正晴

(2) 所在地

本社/工場 〒418-0037 静岡県富士宮市安居山44番の8
TEL：0544-27-6066
FAX：0544-27-6214
敷地：10,000㎡
建物：4,500㎡

第2工場 〒419-0316 静岡県富士宮市羽鮒69-1
TEL：0544-65-2188
FAX：0544-65-2466
敷地：10,000㎡
建物：3,000㎡

◎本社/工場（H29.1月撮影）



◎第2工場（H29.1月撮影）



(3) 環境管理責任者、環境管理副責任者、化学物質管理責任者の氏名及び連絡先

環境管理責任者 加藤 慎也
TEL：0544-27-6066 FAX：0544-27-6214
E-Mail：shinya.k@ohbakiko.co.jp

環境管理副責任者 高柳 真一
E-Mail：yanagi@ohbakiko.co.jp

化学物質管理責任者 奥脇 洋
E-Mail：oku@ohbakiko.co.jp

(4) 事業の概要

- ・ステンレスパイプの製造
- ・ステンレスパイプの二次加工（曲げ、穴あけ、絞り、接合等）
- ・プラスチック光ファイバー製品の加工、組立、試作、販売
- ・工業用簡易型内視鏡の製造（イージースコープ）

(5) 事業の概要

年 度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
売上高（万円）	133,000	152,800	168,000	147,900	138,900
従業員数	100名	98名	114名	114名	110名
本 社 敷 地	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡
本 社 建 物	3,500㎡	3,500㎡	3,500㎡	3,500㎡	4,500㎡
第2工場敷地	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡
第2工場建物	3,000㎡	3,000㎡	3,000㎡	3,000㎡	3,000㎡

2. 対象範囲

(1) 認証、登録範囲

全組織、全活動、全従業員を対象とし、全社的に取り組む。

■本社/工場 〒418-0037 静岡県富士宮市安居山44番の8
→認証：2006年8月

■第2工場 〒419-0316 静岡県富士宮市羽鮒69-1
→認証：2006年8月

(2) レポートの対象期間及び発行日

対象期間：2020年5月～2021年4月

発行日：2021年7月15日

3. 環境経営方針

環境理念

『事業活動が、地球環境に関わる影響を認識し、
全従業員が環境保全及び環境汚染防止に努め、より良い企業活動を行う』

基本方針

大場機工株式会社は、精密ステンレスパイプ製品、プラスチック光ファイバー製品の加工・組立技術を利用して、原材料を効率よく活用した省資源生産で社会に貢献することを目指します。企業活動の中で、環境保全は経営の重要課題と捉えており、廃棄物の削減を通して環境に配慮した信頼される商品をお客様にご提供します。

より良い地球環境保全を目指して、前従業員が環境保全及び環境汚染防止に努めて参ります。

1. 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量等の削減に努めます
 - 1) 電気、プロパンガス、ガソリン、灯油の使用量削減に努めます。
 - 2) 4 R 活動を通じて廃棄物の削減に努めます。
 - 3) 節水活動による水使用量の削減に努めます。
 - 4) 化学物質使用量の適正使用に努めます。
2. 環境関連法令及びその他関連要求事項を遵守します。
3. 環境に配慮した製造活動を通じて廃棄物の削減、在庫の削減に努めます。
4. 社員の環境への啓発及び地域・社会との環境活動を通じた社会貢献に努めます。
5. 環境経営方針は全社員への周知徹底を図るとともに、ホームページ及び環境活動レポートを社外に公開することで社会とのより良いコミュニケーションを図ります。

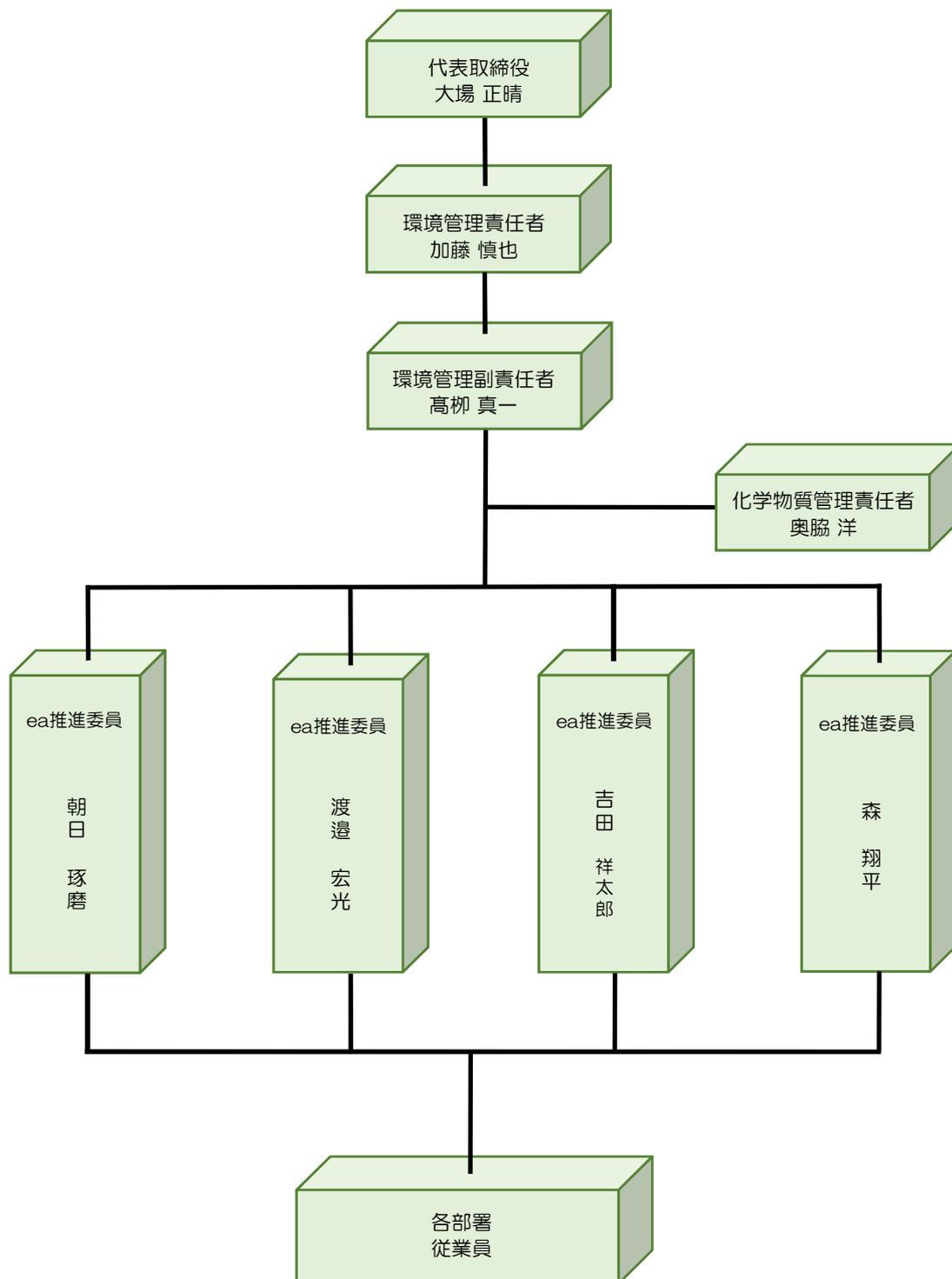
平成19年6月14日制定
令和元年5月28日改訂

大場機工株式会社

代表取締役

大場正晴

4. 実施体制



令和3年5月1日 制定

5. 役割、責任及び権限

職名	役割・責任・権限
代表者 (代表取締役)	<ul style="list-style-type: none"> • 環境経営全般に関する責任と権限 • 環境経営に必要な資源の準備 • 環境管理責任者、環境管理副責任者の任命 • 環境経営システム全体の評価と見直し • 環境経営レポートの承認 • 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> • 環境活動経営システムの全般の運用、管理 • 環境目標及び環境活動計画の作成 • 環境関連法規取りまとめ表の確認 • 環境経営レポートの確認
環境管理副責任者	<ul style="list-style-type: none"> • 環境関連法規取りまとめ表の作成 • 各課環境目標に対する取り組みの取りまとめ • 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 • 文書、記録の管理
化学物質管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> • 環境物質管理体制の実行管理
エコアクション 推進委員	<ul style="list-style-type: none"> • 部門の環境目標、環境活動計画の実施 • 部門の問題把握と是正対策の実施 • 部門の取組状況をQMS会議で報告 • 部門の従業員教育 • 環境活動レポートの作成
その他の従業員	<ul style="list-style-type: none"> • 自分の役割を守りエコアクション21活動を推進する。

6. 環境経営目標

活動項目	環境目標	単位	【基準年】 H30年度実績	R元年度目標	R2年度目標	R3年度目標
				H30年度対比	H30年度対比	
二酸化炭素 排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	445,435	440,981 1%削減	436,526 2%削減	R2年度の実績をもとに目標を設定する。
	購入電力量 排出係数	kwh	873,071	864,340 1%削減	855,610 2%削減	
	ガス使用量	kg	1,778	1,760 1%削減	1,742 2%削減	
	ガソリン使用量	ℓ	5,381	5,327 1%削減	5,273 2%削減	
	灯油使用量	ℓ	5,474	5,419 1%削減	5,365 2%削減	
水資源 使用量	水道使用量	m ³	4,751.50	4,704 1%削減	4,656 2%削減	
廃棄物 排出量	可燃物排出量	t	4.405	4.36 1%削減	4.27 3%削減	
	廃プラスチック排出 量	t	2.145	2.12 1%削減	2.10 2%削減	
	コピー用紙使用量	kg (枚)	660 (165000)	653 (162000) 1%削減	647 (160500) 2%削減	
製品/サービス ステンレスくずの削減		kg	17,131	16,960 1%削減	16,617 3%削減	
化学物質購入量		kg	32,000	31,040 3%削減	30,400 5%削減	

7. 環境経営計画

部署	達成手段	担当	計 画												
			5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
管理部	低燃費車の優先使用で 平均燃費17.5km/L以上	朝日 新村	前年 集計	実行						半期 評価	実行				評価
			実行							実行					まとめ
パイプ 事業部	稼働率向上	深澤	稼働 スケジュール 見直し	8ラインの 作業終了時間統一化						半期 確認	見直し 合理化 改善				まとめ
	平均サイクル3回/日	渡邊 岩間	回収量 新液購入量 灯油使用量の把握						回収量 新液購入量 灯油使用量の把握				まとめ		
加工 事業部	化学薬品使用量 の把握と環境整備	吉田 戸井	前年までの 使用製品 状況把握		現状把握		月毎の使用量 及び環境整備					まとめ			
光 事業部	歩留まり向上 (前年比90%)	森 清	計画	データ収集及び比較				データ収集及び比較							
	電力使用量の把握	望月昌 小林	計測器 設置	データ収集及び比較				データ収集及び比較							

8. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容

部署	達成手段	担当		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	結果		
営業部	低燃費車の優先使用で 平均燃費17.5km/L以上	朝日 新村	計画	前年 集計/ 実行	実行						※下半期より達成手段を変更						—	
			実績	8.39 km/L	9.50 km/L	11.60 km/L	14.13 km/L	13.86 km/L	14.60 km/L									
			評価	△	△	△	△	△	△									
営業部	低燃費車の優先使用 (プリウス、α6214 の使用率60%以上)	朝日 新村	計画	※下半期より達成手段を変更						半期 集計/ 実行	実行						達成	
			実績							64.40 %	63.91 %	63.70 %	63.15 %	64.72 %				
			評価							○	○	○	○	○	○			
パイプ事業部	稼働率向上	深澤	計画	稼働 スケジュール 見直し	8ラインの 作業時間統一化						半期 確認	見直し 合理化 改善						未達成
			実績	見直し	見直し	稼働時間の均一化						半期 確認	現状確認	現状確認 効果確認	まとめ			
			評価	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×		
パイプ事業部	平均サイクル3回/日	渡邊 岩間	計画	回収量 新液購入量 灯油使用量の把握						回収量 新液購入量 灯油使用量の把握						未達成		
			実績	1.88 回	1.00 回	3.63 回	2.5 回	3.45 回	3.9 回	3.68 回	3.55 回	2.8 回	2.95 回	2.52 回	2.73 回			
			評価	×	×	○	△	○	○	○	○	△	△	△	△			
加工事業部	化学薬品使用量 の把握と環境整備	吉田 戸井	計画	前年までの 使用製品/状況把握					現状把握		月毎の使用量及び環境整備						まとめ	未達成
			実績	状況 把握	状況 把握	状況 把握	状況 把握	状況 把握	状況 把握	状況 把握	状況 把握	状況 把握	状況 把握	状況 把握	状況 把握	まとめ		
			評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		
光事業部	歩留まり向上 (前年比90%)	森清	計画	計画	データ収集及び比較						データ収集及び比較						未達成	
			実績	5件	8件	6件	7件	11件	7件	11件	2件	10件	6件	8件	6件			
			評価	○	○	○	○	×	×	×	△	×	×	×	○			
光事業部	電力使用量の把握	望月昌 小林	計画	計画	データ収集及び比較						データ収集及び比較						—	
			実績	1,379 kWh	3,181 kWh	4,196 kWh	5,397 kWh	5,310 kWh	3,473 kWh	2,958 kWh	4,637 kWh	10,373 kWh	※キュービクル集約 により打ち切り。					
			評価	○	○	△	×	×	○	○	×	×						

9. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価並びに次年度の環境経営計画

活動項目	環境目標	単位	【基準年】 H30年度実績	R2年度目標	R2年度実績	評価	R3年度目標
				H30年度対比	目標達成率		R2年度対比
二酸化炭素 排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO2	445,435	436,526 2%削減	481,178 110.23%	×	476,367 1%削減
	購入電力量 排出係数0.474kg-CO2/kwh	kwh	873,071	855,610 2%削減	939,102 109.76%	×	930 1%削減
	ガス使用量	kg	1,778	1,742 2%削減	1,709 98.10%	○	1,692 1%削減
	ガソリン購入量	ℓ	5,381	5,273 2%削減	2,783 52.77%	○	5,273 ※H30対比 2%削減
	灯油購入量	ℓ	5,474	5,365 2%削減	9,719 181.17%	×	9,622 1%削減
水資源 使用量	水道使用量	m ³	4,751.50	4,656.47 2%削減	4,880.00 104.80%	×	4,831.20 1%削減
廃棄物 排出量	可燃物排出量	t	4405.00	4,272.85 3%削減	4,105.00 96.07%	○	4,063.950 1%削減
	廃プラスチック排出量	t	2,145	2,102 2%削減	1,740 82.77%	○	1,723 1%削減
	コピー用紙購入量 /使用量	kg	660.00	646.80 2%削減	640.00 98.95%	○	633.6 1%削減
製品/サービス ステンレスくずの削減	kg	17,131	16,788 3%削減	14,590 86.91%	○	14,444 1%削減	
化学薬品購入量	kg	32,000	31,360 5%削減	38,500 122.77%	×	38,115 1%削減	

※ガソリン購入量のR3年度目標について。
R2年度は、新型コロナウイルスの影響により購入量が大幅に減少したため、R3年度の目標についてはH30年度実績を基準とします。

活動項目	環境目標	R2年度各部の 重点活動内容	評価/コメント	R3年度各部の 重点活動内容
二酸化炭素 排出量	購入電力量	<ul style="list-style-type: none"> ■パイプ事業部 設備の電力量削減 ■光事業部 電気使用量調査 	⇒H30年度実績:462,141kwh R2年度実績:502,148kwh H30対比:106.41% (+40,007kwh) ⇒キュービクル集約により打ち切り。	<ul style="list-style-type: none"> ■全社 省エネ機器、節電商品への切り替え検討 ■管理部 電力使用ピークの把握 ■パイプ事業部 焼鈍設備の稼働率向上による電力削減
	ガス使用量	<ul style="list-style-type: none"> ■加工事業部 使用量の削減 	⇒H30年度実績:847.40m ³ R2年度実績:819.20m ³ H30対比:96.67%(-58.37m ³)	<ul style="list-style-type: none"> ■加工事業部 始業前のメーター確認による使用量確認・把握
	ガソリン使用量	<ul style="list-style-type: none"> ■営業部 ガソリン購入量削減 (H30年度対比-2%) 	⇒H30年度実績:5,381ℓ R2年度目標:3,767ℓ R2年度実績:2,783ℓ 目標比:73.8%(-984ℓ)	<ul style="list-style-type: none"> ■営業部 燃費管理 低燃費車優先使用
	灯油使用量	—	H30年度実績:5,474ℓ R2年度目標:5,365ℓ R2年度実績:9,719ℓ 目標比:181.17%(+4,354ℓ)	<ul style="list-style-type: none"> ■パイプ事業部 回収装置の使用量把握 回収装置の効率化 矯正油の変更 (試用及び評価)
水資源 使用量	水道使用量	<ul style="list-style-type: none"> ■加工事業部 始業前水道メーター確認 による使用量確認 	⇒H30年度実績:4,333m ³ R2年度実績:4,710m ³ H30対比:101.15%(+54. m ³)	<ul style="list-style-type: none"> ■パイプ事業部 井戸水の活用 ■加工事業部 水道管経路の確認 メーター確認による使用量把握 過去3年の使用量調査 使用量削減に関する提案
廃棄物 排出量	可燃物 排出量	—	H30年度実績:4,405t R2年度目標:4,273t R2年度実績:4,105t 目標比:96.07%(-168t)	<ul style="list-style-type: none"> ■管理部 ペーパーレスの推進 ■加工事業部 梱包資材のリユース
	廃プラスチック 排出量	—	H30年度実績:2,145kg R2年度実績:1,740t 目標比:82.77% (-0.332t)	<ul style="list-style-type: none"> ■加工事業部 梱包資材のリユース ■光事業部 廃棄量の計測 廃棄量削減の呼び掛け
	コピー用紙 使用量	—	H30年度実績:660.0kg R2年度目標:646.8kg R2年度実績:640.0kg 目標比:98.95%(-6.8kg)	—
製品/サービス ステンレスくずの削減	—	—	H30年度実績:17,131kg R2年度実績:14,590kg H30対比:85.17%	<ul style="list-style-type: none"> ■管理部 契約電力見直し ■加工事業部 歩留まり向上 ■光事業部 歩留まり向上
化学物質購入量	—	<ul style="list-style-type: none"> ■パイプ事業部 回収装置による排出ガス抑制 ■加工事業部 適性使用及び作業環境改善 	⇒購入量 H30年度購入量:32,000ℓ R2年度回収量:38,500ℓ H30対比:120.3%(+6,500ℓ)	<ul style="list-style-type: none"> ■パイプ事業部 回収装置導入後の回収量把握

10. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟などの有無

1. 環境関連法規等の遵守状況

環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

法令・条例等	適用内容又は規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物処理法	保管施設の表示と保管基準の順守 収集運搬業者及び処分業者との委託契約 委託契約書の保管 マニフェストの管理 マニフェストの交付状況報告	表示板(60cm×60cm) 契約書及び許可書 保存期間：5年間 A、B2、D、E票の保管 1回/年	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例第8条	産業廃棄物管理責任者の選任 産業廃棄物処理の委託先の実地確認	管理責任者：高柳真一 1回/年以上	○
騒音規制法第6条第1項 (第7条第1項) 静岡県生活環境の保全等に関する条例 第53条第1項(第54条第1項)	特定施設設置届出書	空気圧縮機	○
振動規制法第6条第1項 (第7条第1項) 静岡県生活環境の保全等に関する条例 第80条第1項(第81条第1項)	特定施設設置届出書	空気圧縮機	○
水質汚濁防止法 第5条第1項(第6条第1項)、第7条	特定施設設置届出書 廃水の水質調査	洗浄施設/蒸留施設 1回/月	○
土壤汚染対策法	有害物質使用特定施設(水濁法)の廃止	土壤汚染調査	○
フロン排出抑制法	設置、使用、廃棄の義務 点検の実施 漏えい量の算定、報告	簡易点検：3ヶ月に1回 定期点検：3年に1回 (7.5kw以上～50kw未満の空調機器)	○
労働安全衛生法	定期健康診断 特定業務従事者の健康診断 局所排気装置設置届 局所排気装置定期自主検査 作業環境測定	1回/年 1回/半年 届出済 1回/年 1回/半年	○
消防法	ボイラー設備の届出 少量危険物 貯蔵の届出 防火管理責任者の選任(法第8条) 消防設備の設置届及び点検	少量危険物 貯蔵の届出 第4類 灯油 最大貯蔵数量950L 防火管理責任者：高柳真一 届出済、1回/半年	○
浄化槽法	法定検査 保守点検、清掃	1回/年 保守点検：4回/年、清掃：1回/年以上	○
PRTR法	対象物質使用量管理 SDSの管理	1回/年 —	○
RoHS規制 REACH規制	顧客からの要求事項の順守	—	○
関連法規	家電リサイクル法 パソコンリサイクル法 自動車リサイクル法	家電、パソコン 社用車 エアコン、室外機	○
富士宮市自然環境の保全及び育成に関する条例	地下水の採取届	届出済	○

2. 違反訴訟等の有無

過去3年間の違反、訴訟等はありません

3. 近隣からの苦情

過去3年間の環境関連に関する近隣からの苦情はありません。

11. 代表者による全体評価と見直し・指示

1. 環境活動の取組みのチェック

部署	活動内容	評価
営業部	低燃費車の優先使用(プリウス、α6214の使用率60%以上)	○
パイプ事業部	稼働率向上	×
	平均サイクル3回/日	×
加工事業部	化学薬品使用量の把握と環境整備	×
光事業部	歩留まり向上(前年比90%)	×
	電力使用量の把握	—(※)

※キュービクル集約により打ち切り

2. 代表者による全体評価・見直し指示

項目	評価	指示事項
1. 環境経営方針	来年度の環境経営方針に変更ありません。	特に無し。
2. 環境経営目標	項目別に目標実績にさが有り過ぎた。	項目別の再検討する。
3. 環境経営計画	コロナ禍で全項目の目標・実績の達成が不安定であった。	コロナ禍であっても検討して実行すること。
4. 実施体制	各項目別に目標達成するため再検討する。	令和3年度は新組織にする。
5. その他	変更の必要性	変更の指示、またはコメント記載
1) 環境関連法規	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	特に無し。
2) 環境コミュニケーション	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	活動報告は毎月行われるQMS会議で実施中。
3) 問題点の是正・予防処置	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	目標未達は再検討する。
4) 環境上の緊急事態への対応	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	本社災害避難訓練が10月、4月と天候、コロナウィルスの影響で延期となった。第2工場は10月に薬品流失訓練を実施。

評価日：令和3年4月20日
代表取締役 大場 正晴